**名前　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度　　　　　　/100**

Q1.　動画内で紹介した木の良さについて、空欄に適切な語を記入しなさい。

　　　 ※同じ番号が繰り返し出てくる箇所は、最初の番号に記載せよ

時が経つとともに、味わいを増すことを木の①（　　　　　　　　）という。

室内はあめ色に、屋外では紫外線や雨の影響で美しい②（　　　　　　　　）色に変化する。

しかし、取扱いを間違うと劣化するため、木の③（　　　　　）を踏まえた、④（　　　　　）と

⑤（　　　　　　）が必要である。

日本の家の寿命は今までは30年だったが、木造は④（　　　　　）と⑤（　　　　　　）により

⑥（　　　　　）年使うことができ、長く使うことで、⑦（　　　　）負担を軽減できる。

木は空気中の⑧（　　　　　）を吸収して成長する。老木では、⑧（　　　　　）吸収力が減るので、

伐採し植林して、吸収力を回復させることが大切である。

木は、腐って土に戻る循環資源だが、腐らせずに、建材や家具として利用している期間は

⑧（　　　　　）を固着し続け地球⑨（　　　　　）化を抑制するので、長く使うことが省エネになる。

すなわち、木は⑩（　　　　　　）て長く使うこと、⑩（　　　　　　　）たら植えること、が大切である。

木材・薪は燃焼で⑧（　　　　　）を発生するが、成長時に大気中から吸収したものなので、

⑧（　　　　　）を増やさず、⑪（　　　　　　　　　　　　　　　）な燃料である。

Q2.　動画内で紹介した木を現わしで使うメリットについて、空欄に適切な語を記入・もしくは選択しなさい。　　　 ※同じ番号が繰り返し出てくる箇所は、最初の番号に記載せよ

木を表面に使うことを①（　　　　　　）仕様と言い、多くのメリットがある。

１．まず、木材表面の湿気が多いと吸収し、少ないと放出する②（　　　　　　）性があり、室内の

湿度変化を穏やかに保つことができる。

２．また、紫外線の反射率が金属等の他の素材と比べ③（　小さい　/ 大きい　）ため、

④（　　　　　　　　　　　　）。

３．木目・年輪が⑤（　　　　　　　　　　）のリズムになっており、⑥（　　　　　　　　　　）効果がある。

４．年輪・木目のうち、⑦（　薄い　/ 濃い　）色の⑧（　硬い　/　柔らかい　）部分は経年で残り、

⑨（　薄い　/ 濃い　）色の⑩（　硬い　/　柔らかい　）部分は分解され、年輪・木目が際立ち、

立体的な質感になる。

５．木材の持つ⑪（　　　　　　　）にはストレスへの抵抗力を高めるホルモンを増やす効果があり、内装に木材を使うことで、森林浴効果を得られる。

６．木材は　⑫（　　　　　　）質で、内部に優れた⑬（　　　　　　　）効果を持つ空気を含んでいるため、⑬（　　　　　　）性が高い。また、適度に密度もあるため、⑭（　　　　　　）性も持つ。